



学校行事の意義

右画像は、11月17日にしょうぶ園に遠足に行った1年生の様子です。交通ルールや活動場所でのマナーを意識して、安全に楽しく活動することができました。冬間近なので、期待するような草花はないのですが、表示を見ながら春や夏の様子を想像したり、時折見つける虫に歓声を上げたりと、今の季節を楽しみました。



左画像は、11月26日に1DAYキャンプ出発式の5年生の様子です。本来1泊2日のキャンプでしたが、1日に楽しみを凝縮させ、自分たちが主役になるような取り組みをこの日までに行いました。高学年らしく、実行委員を中心にスローガンを作成し、そのスローガン達成のために自分たちがどう動くべきか、どういった心の準備が必要なのかを考えたのだと思います。

当日は好天に恵まれ、秋の自然にもふれながら、グループで協力し実りある1日を過ごしました。

他の学年も、11月11日に3年遠足、11月18日に4年遠足、11月19日に2年遠足が行われ、普段とは違う場所でクラスの枠を超えた活動を楽しむことができました。

「チームワークを大切に」とか「相手の気持ちになって」と子ども達に伝える場面は多くあると思いますが、この学びを深めるため、「楽しい活動をみんなで楽しくするためにはどうすればいいのか」を考える学校行事は大きな役割を担っています。共通の経験をした子ども達は、友だちの別の一面を感じたり、自己主張の大切さを学んだりします。(運動会でもその一面を感じたのではないのでしょうか)

思考錯誤の「今」

学校生活を送っていく上で、子ども達は様々なことに挑戦し、成功したり失敗したりしています。成功体験は、次への自信につながります。学校としては、できるだけこの経験をたくさんしてもらいたいと考えています。反面、「同じ失敗をしたくない」とか「誰かに評価されたくない」という気持ちから、失敗体験を避けることがあります。しかし、まだ小学生。試行錯誤が非常に大切な時期だと思います。

「成功した時の笑顔が見たい。」「感動する心を育てたい。」これは、学校もご家庭も共通の願いだと思います。そこに行き着くための失敗には、子ども達の心の状態に合った励ましやアドバイスをしてあげたいと思います。どうぞご家庭で気になることがございましたら、学校までお知らせください。

普段の学校生活・教育活動や学校行事を経て感じたことなどを、ぜひ12月に実施される個人面談でお伝えいただければと思います。